

NOLAN ヘルメット
X-904 シリーズ

サイズ

S (55~56) / M (57~58)
L (59~60) / XL (61~62)

商品シリーズ

X-904

■ご使用前に必ずご確認ください■

※本商品の使用をもって、本書と保証規定の内容の全てを理解・承諾したものとみなします。本書内の注意事項を守らず使用したことによる事故や損害について、当社では一切の責任を負いません。

※本書は、いつでも取り出して読めるように大切に保管してください。また第三者に譲渡する場合は、必ず本書も併せてお渡ししてください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

 禁止	禁止の行為であることを告げるものです。	 実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	 その他	その他の警告及び注意を告げるものです。
---	---------------------	---	-------------------------	--	---------------------

 警告	要件を満たさず使用しますと、死亡または重傷に至る可能性や第三者の生命や財産を損なう可能性が想定される場合を示してあります				
 禁止	『本商品の分解や塗装などの改造は絶対に行わないでください』。想定した安全性を発揮できなくなるおそれがあり、商品の破損だけでなく、重大な事故やケガにつながるおそれがあります。 『転倒や落下などにより、一度でも衝撃を受けたヘルメットは使用しないでください』。外観上に異常がない場合でも、本来の衝撃吸収性能を発揮できず、重大な事故やケガにつながるおそれがあります。 - シールドを開けた状態で走行しないでください。走行風などの影響によりシールドが不意に動いたり、破損したりして、重大な事故につながるおそれがあります。 - ヘルメットの汚れは、薄めた中性洗剤でやさしく拭き取ってください。また、ヘルメットに適さない洗剤や消毒剤、溶剤系クリーナーなどは使用しないでください。本商品の劣化や破損だけでなく、衝撃吸収材が損傷し、本来の衝撃吸収性能を発揮できなくなるおそれがあり、大変危険です。 - 高温となる場所に長時間放置しないでください。衝撃吸収材が変質し、本来の衝撃吸収性能が発揮できなくなるおそれがあります。				
 実施	- ヘルメットは必ず頭のサイズに合ったものをお選びください。特に大きすぎるヘルメットは、転倒時に脱落するおそれがあり、大変危険です。 - 走行前に内装やシールドが正しく固定されていること、および各部に異常がないことを必ず点検してください。異常がある場合は、商品の使用を中止してください。 - あご紐は必ず締めてご使用ください。 - 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を必ず点検してください。異常がある場合は、商品の使用を中止し、販売店へご相談してください。				
 その他	製品安全協会が定める SG マーク取得品であっても、一定期間を経過したヘルメットは、経年変化や劣化などにより、本来の性能を発揮できなくなるおそれがあります。そのため、SG マークには耐久性を考慮し、《購入後3年間(※)》の有効期限が定められています。有効期限を過ぎたヘルメットは、正常な使用方法であっても、保護性能を発揮せず、重大な事故やケガにつながるおそれがあります。安全のために、有効期限を過ぎた場合は新しいヘルメットに交換してください。 ※商品の保証期間ではありません。				

 注意	要件を満たさず使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります				
 禁止	- オートバイレースやサーカスなどの特殊な用途でご使用される場合は、SG マーク補償制度の対象外となります。 - 雨や汗などで濡れた場合や湿った場所で放置しないでください。カビや悪臭の発生原因となります。 - シールドやビンロックシートにキズが付いた場合は、新しいものに交換してください。そのまま使用すると、視界の妨げとなり、事故などにつながるおそれがあります。				
 実施	- 本商品を開梱の際は、構成部品の不足や外観の不具合、異常がないことを必ず確認してください。万一お気づきの点がございましたら、ご使用前にお買い求めの販売店へ速やかにご相談ください。 - 内装のホックを外すときは、ホックの近くを持ち丁寧に扱ってください。 - 取り付けは各作業に適した工具をご使用ください。不適切な工具を使用すると部品の破損やケガをする可能性があります。				
 その他	- 商品保証は本商品のみが対象になります。また本商品を装着したことによる物的損害や人的損害などの補償は一切お受けできません。 - つや消し部分は、コンパウンド入りのクリーナーで拭くと、風合いが失われる可能性があります。ご注意ください。 - 本商品、または本書でご紹介した商品は予告なしに価格や仕様を変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。				

■SG マーク被害者救済制度について

- SG マークは、製品安全協会が定める SG 基準に適合するものとして認証された製品に表示されるマークです。万一、SG マークが貼り付けられた本商品の欠陥により人身事故が発生した場合は、SG マーク被害者救済制度による賠償措置の対象となります。ただし、プロオートバイレースやサーカスなどの特殊な使い方をしている場合や、あご紐を閉めないなど正しい使い方をしていない場合、シールドなどの付属品の欠陥による場合、あるいは SG 基準が定めるヘルメットの性能を超える衝撃を受けた場合の負傷などは、賠償の対象になりません。
- SG マークには、ヘルメットの耐久性などを考慮して**《購入後3年間》の有効期限**が定められております。また有効期限内であっても、一度でも衝撃を受けたヘルメットや改造されたヘルメットは外観に異常がなくても性能が低下しているため絶対に使用しないでください。

◆SG 制度に関するお問い合わせ

一般財団法人製品安全協会

TEL : 03-5808-3300

〒110-0012

東京都台東区竜泉 2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪 2F

Email : mail@sg-mark.org

◆SG マーク製品による事故の場合

消費生活製品 PL センター

TEL : 0120-11-5457

商品内容

NO	パーツ名	備考	数量	NO	パーツ名	サイズ (mm)	数量
①	ヘルメット本体		1	②	保護袋		1

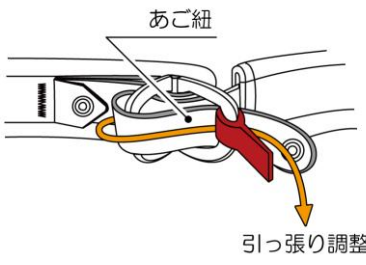
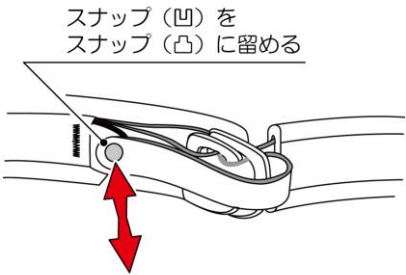
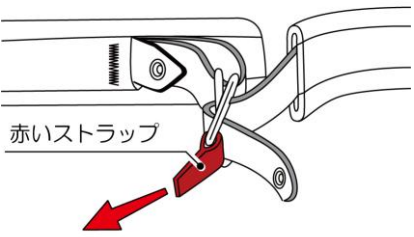
取付方法

※本書の説明で使用している写真の商品は試作品になります。実際の商品とは異なる場合がございます。

◆ヘルメットの装着◆

1. ヘルメットをかぶる	2. Dリングへ通す	3. あご紐を折り返す
 あご紐	 通す Dリング	 赤いストラップ
・左右のあご紐を持って広げながら装着します。	・あご紐を2つのDリングに通します。	・あご紐を折り返し、赤いストラップが付いたDリングに再び通します。
4. あご紐を締める	5. あご紐の固定	6. あご紐の固定を解除
	 スナップ (凸) スナップ (凹)	 赤いストラップ
・あご紐を引いて、締め具合を調整します。その後、ヘルメットが大きくずれないことを確認してください。 ※図1 参照	・余ったあご紐は左右のあご紐にあるスナップで留めて固定します。 ※図2 参照	・緩める場合はスナップを外して赤いストラップを矢印の方向に引っ張ります。

◆ヘルメットの装着◆

図 1	図 2	図 3
 あご紐 引っ張り調整 あご紐とあごの間に指が 1～2本入る程度に締め付け	 スナップ (凹) を スナップ (凸) に留める	 赤いストラップ 左側へ引っ張る
あご紐は、あごとの間に指が1～2本入る程度まで確実に締め付けてください。あご紐外れている、または締め付けが緩い場合、転倒時の衝撃によりヘルメットがずれ、十分な安全性を確保できません。	走行中にあご紐の端部がバタつかないようにするため、あご紐にあるスナップ (凸) を、Dリングにあるスナップ (凹) へ確実に留めてください。	Dリングに付いている赤いストラップを左側へ引っ張り、あご紐の固定を解除します。

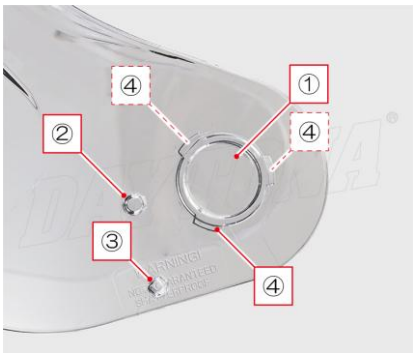
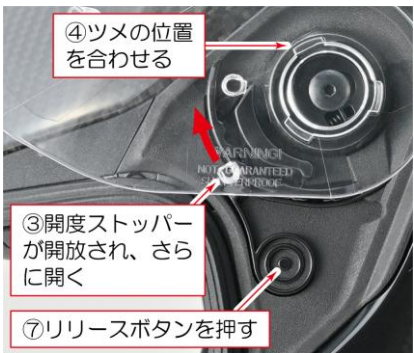
◆エアインテークの操作◆

1. フェイスエアインテークの操作	2. アッパーエアインテークの操作	3. アウトテーク
 フェイスエアインテーク開放 レバー ※下ヘスライド 閉鎖	 レバー ※後方ヘスライド アッパーエア インテーク開放	 アウトテーク (常時開放)
ヘルメットの前方にあるレバーを『下ヘスライド』させフェイスエアインテークを開きます。	ヘルメットの上にあるレバーを『後方ヘスライド』させアッパーエアインテークを開きます。	※後方のアウトテークは常時開放です

◆インナーバイザーの操作◆

1. インナーバイザーON	2. インナーバイザーOFF	3. 注意
 サイドレバー 前方ヘスライド ON	 解除レバー 押し込む	 禁止
ヘルメット左側のサイドレバーを『前ヘスライド』させインナーバイザーを出します ※夜間やトンネル内では、インナーバイザーを使用しないでください。十分な視界が確保できなくなります。	解除レバーを押し込むとインナーバイザーが戻ります。	※インナーバイザーを直接押し上げて解除しないでください。開閉機構が破損するおそれがあります。

◆シールドの脱着◆

1. シールドの部品名称	2. バイザーメカニズムの部品名称	3. シールド全開時
 ①シールドピボット ②ガイドピン（シールドの開閉調整用） ③開度ストッパー ④ツメ	 ⑤ピボットベース ⑥ラチェットレール（シールドの開閉調整用） ⑦リリースボタン ⑧シールドストッパー	 ⑦シールドストッパーに当たりシールドが、これ以上開かない構造になります ・③開度ストッパーが⑦シールドストッパーに当たり、シールドが全開になります。
4. シールドの脱着	5. シールドの取り付け	
 ・③開度ストッパーが⑧シールドストッパーに当たらないように、⑦リリースボタンを押しながらシールドを全開に開きます。 ・①シールドピボットと⑤ピボットベースの④ツメの位置が合うとシールドが外れます。 ※反対側も同様に取り外してください。	 ・①シールドピボットを⑤ピボットベースに合わせ、シールドを閉じていくと取り付けできます。 ・シールドが正常に取り付けられているか各部を点検してください。 ※反対側も同様に取り付けしてください。	

◆内装の取り外し◆

1. ウインドプロテクターの形状	2. ヘルメット側のホック位置	3. ウインドプロテクターの取り外し
 ウインドプロテクター 前方 表面 裏面 スライダーホック (3ヶ所) ・ウインドプロテクターのスライダーホック (3ヶ所)	 ・ヘルメット側のスライダーホック位置 (3ヶ所)	 1 スライダーホック ウインドプロテクター ・①～③のスライダーホックを引き抜き、ウインドプロテクターを取り外します。
4. チークパッドのホック位置	5. ヘルメット側のホック位置	6. チークパッドの取り外し
 ・チークパッドのホック (2ヶ所/④～⑤) とスライダーホック (3ヶ所/⑥～⑧)	 ・ヘルメット側のホック位置 (2ヶ所) とスライダーホック位置 (3ヶ所) ※⑧はスライドさせながら差し込みます。	 ・④～⑤のホックと⑥～⑧のスライダーホックを引き抜き、チークパッドを取り外します。
7. センターパッド「リア」のホック位置	8. ヘルメット「リア」側のホック位置	9. センターパッド「リア」の取り外し
 ・センターパッド「リア」のホック (2ヶ所/⑨～⑩) とスライダーホック (2ヶ所/⑪～⑫)	 ・ヘルメット「リア」側のホック位置 (2ヶ所) とスライダーホック位置 (2ヶ所)	 ・⑨～⑩のホックと⑪～⑫のスライダーホックを引き抜き、センターパッドを取り外します。

◆内装の取り外し◆

10. センターパッド「フロント」のホック位置	11. ヘルメット「フロント」側のホック位置	12. センターパッド「フロント」の取り外し
		
・センターパッド「フロント」のスライダーホック（3ヶ所/⑬～⑮）	・ヘルメット「フロント」側のスライダーホック位置（3ヶ所）	・⑬～⑮のスライダーホックを引き抜き、センターパッドを取り外します。

◆エマージェンシー機能◆ この脱着方法は『緊急時』にのみ使用してください

1. ヘルメットを緊急で外す場合	2. 赤い帯を引っ張る	3. チークパッドの取り外し完了
緊急時にチークパッドを取り外す場合  赤い帯を使用 ・赤い帯を使用してチークパッドを緊急で取り外します。 ※実際に負傷者から外す際は、ヘルメットをしっかり固定し、負傷者に負担がかからないよう引き抜いてください。	 赤い帯に指を引っ掛けてチークパッドを引っ張ります ・赤い帯に指を引っ掛けてチークパッドを引き抜きます。 ※通常の内装を脱着する場合は、この方法で外さないでください。内装を傷める原因となります。	チークパッドの取り外し完了  赤いロックピンがホック（凹）に残ります ・赤いロックピンがヘルメット側のホック（凹）部に残り取り外しが完了です。 ※反対側も同様に取り外します。

4. チークパッドの戻し

			
戻し準備	赤いロックピンスライド	レバーを引く	セット完了
・ヘルメットから赤いロックピンを取り外します。 ・赤いロックピンをチークパッドへスライドさせながらセットします。 ・赤いレバーを引っ張りスライドさせます。 ・内装脱着の手順を参考に、チークパッドをヘルメットへ取り付けます			

◆スピーカーポケットの使用方法◆

1. チークパッドの取り外し



- 「内装の取り外し」手順を参考にチークパッドを取り外します。
- ⑩～⑫のポケットカバーのツメを外します。

2. ポケットカバーのツメ



- ポケットカバーのツメの位置（3ヶ所）

3. ヘルメット側のツメ穴



- ヘルメット側のツメ穴の位置（3ヶ所）
- ⑩～⑫のツメを外して、ポケットカバーを取り外します。

4. スポンジの取り外し



- スピーカーポケットを埋めているスポンジを取り外します。

5. スピーカーの取り付け



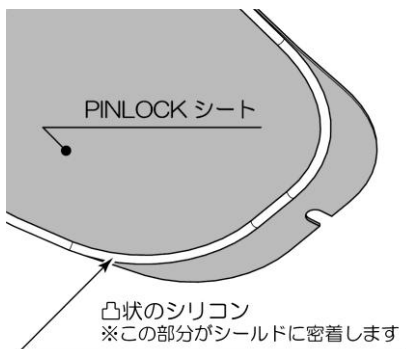
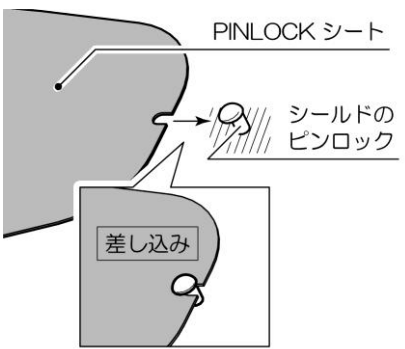
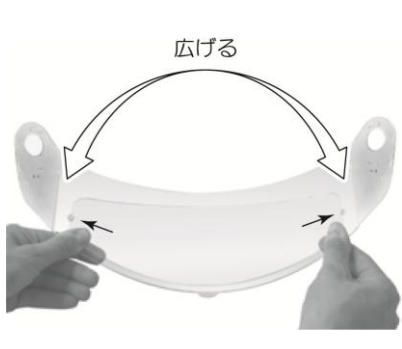
- スピーカーポケットにスピーカーをセットします。
- ※スピーカーは別売品になります。また取り付け方法は各スピーカーの指示に従って取り付けてください。

6. スピーカーの装着イメージ



- スピーカーの装着後は、チークパッドを元に戻してください。

◆ピンロックシートの取り付け◆ ※ピンロックシートは別売品です

 PINLOCK シート 凸状のシリコン ※この部分がシールドに密着します	 PINLOCK シート シールドの ピンロック 差し込み	 広げる
ピンロックシートに凸状のシリコンが付いていることを確認し、黄色い保護シールを剥がします。	ピンロックシートの凸部をシールド側に向けて、切り欠き部をシールドのピンロックに差し込みます。	- シールドを平らになる方向へ広げながら、ピンロックシートの、もう一方をピンロックに引っ掛けます。 - 上下の位置を合わせピンロックシートの凸部がシールド面に密着するように調整します。



- ピンロックはコインなどを使用し、回転させることでピンロックシートの張り具合を調整できます。
- 装着したピンロックシートに、ガタツキやスキマができた場合に調整してください。

- シールドは柔軟性のあるポリカーボネート製で広げても破損しにくい素材です。十分に広げてピンロックシートをピンロックに取り付けてください。
- ピンロックシートは消耗品になります。シートがガタつく場合は寿命になります。新しく交換してください。
- ピンロックシートはキズが付きやすいため、直接布で擦らないでください。
- 親水した面に汚れが付着し、ピンロックシート面が白く濁る場合があります。
- 汚れた場合は、水を流しながら軽く拭き取ってください。

■商品保証について

商品保証とは、通常のご使用において材料または製造上の不具合に起因する故障等が起きた場合、保証規定の範囲において無償修理または交換をお約束するものです。

- 保証期間は使用回数に関わらず、ご購入日から1年間となります。
- 保証を受ける場合には、お買い上げ日が証明できる書面(レシートなど)が必要となります。

※保証の対象は、新品かつ正規販売店でのご購入品に限ります。個人売買や中古品、インターネットオークションでの購入品は保証の対象外となります。

- 下記のアドレス(またはQRコード)より、保証規定の詳細をご一読の上、ご理解・ご承諾ください。

デイトナ保証規定

<https://www.daytona.co.jp/warranty/index.php>

※保証を受けるご連絡を以て、保証規定にご同意いただいたものとみなします。



■保証修理の受付について

お買い上げ日が証明できる書面をご用意の上、購入店もしくは当社までご連絡ください。

インターネットお問合せ

<https://www.daytona.co.jp/contact/index.php>



株式会社 **デイトナ**
東証スタンダード上場

転載 本取扱説明書の内容の一部、
禁止 または全ての無断転載を禁止

〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮 4805

<https://www.daytona.co.jp>